

第2次伊方町行政改革大綱に基づく
主要項目の進捗状況について

(平成22年度実績)

平成23年12月

伊 方 町

伊方町の行政改革の取組状況について

伊方町では、第2次伊方町行政改革大綱(平成22年度から24年度までの3年間)を策定し、町の将来像である「よろこびの風薫るまち 伊方」の実現のため改革を進めていますが、平成23年3月31日までに町が取り組んだ改革の状況をお知らせします。

行政改革実施項目一覧表

主 要 項 目		実 施 項 目	ページ
1 町民サービスの向上	(1) 町民等との協働の推進	1 民間活動の促進	1
	(2) 町民の視点に立ったサービスの提供	2 窓口業務の効率化	2
		3 町営バスの運行見直し	2
	(3) 人材育成による能力向上	4 人材育成基本方針に基づく取組の推進	2
		5 職員提案制度の活用によるサービスの向上	2
	(4) 行政情報の積極的な提供	6 提供できる媒体を活用した情報提供の推進	3
	(5) 情報化に対応したサービスの提供	7 八西CATVの活用	3
(6) 対話型行政の推進	8 町政懇談会及び地区懇談会等の開催	3	
2 組織・機構の再構築	(1) 時代に即応した組織・機構の見直し	1 組織・機構の見直し	4
		2 給食センターの統合	4
		3 学校統合の検討	4
		4 保育所統廃合の検討	4
		5 政策調整会議の開催	5
	(2) 人事制度の見直し	6 新たな人事評価制度の導入	5
	(3) 定員管理及び給与の適正化	7 定員の適正化	5
		8 給与の適正化	5
		9 特別職等の報酬等の適正化	6
		10 委員会・審議会の見直し	6
3 協働体制の構築	(1) 町民等との役割分担の検討	1 町民等との役割分担について検討	7
	(2) 民間活力の活用	2 民間委託の推進	7
		(1) NPOとの役割分担(観光産業)	7
		(2) 高齢者配食サービス事業の充実	7
	3 指定管理者制度の導入	8	

主 要 項 目	実 施 項 目	ページ		
(3) 意識改革の推進	4 学校間交流事業	8		
	5 職員の信頼感の確保	8		
	6 住民自治に関する行政の意識改革	8		
	7 防災意識の高揚	9		
	(4) 人材等の発掘及び活用	8 ふるさとづくり活動の担い手となるボランティア組織等の育成	9	
		9 町民自治活動の推進（ふるさとづくり自治活動推進基金活用）	9	
		10 集落支援員の設置	9	
		11 人材等の掘り起こし及び活用	10	
	(5) 町民参画により開かれた町政の推進	12 町民参画の推進	10	
	(6) 町政運営の公正の確保と透明性の向上	13 給与・定員管理等の状況公表	10	
		14 食糧費の公表	10	
	4 財政の健全化	(1) 予算編成システムの見直し	1 総合計画と連動した予算編成	11
			2 財政健全化計画に基づいた予算編成	11
		(2) 行政評価システムの導入	3 行政評価システムの導入	11
(3) 徹底した内部管理経費の節減		4 消耗品費の見直し	11	
		5 公共工事等のコスト削減	12	
		6 旅費の見直し	12	
		7 郵便料の削減	12	
		8 庁舎等の節電による電気量の削減	12	
		9 庁舎の管理委託料の削減	13	
(4) 事務事業の見直し		10 事務決裁システムの再構築	13	
		11 申請書・公文書の簡素化	13	
		12 投票所及び選挙事務の見直し	13	
		13 公用車の適正管理	14	
		14 電子申請システムの運用検討	14	
		15 ごみ処理の集約化及びリサイクルの推進	14	
		16 補助団体の自立促進及び補助金の見直し	14	
		17 入札制度の適正化	15	

主 要 項 目	実 施 項 目	ページ
(5) 予算執行段階での節減	18 コスト意識と創意工夫による節減	15
(6) 公営企業の経営健全化	19 下水道使用料の見直し	15
	20 水道料金の見直し	15
	21 経営状況の改善	16
	22 水道水の漏水対策の強化	16
	23 水道管理システム(地図情報システム)の構築	16
	24 診療所の財政健全化	16
	25 特定健診の受診率向上対策	17
	26 伊方町風力発電所の経営改善	17
(7) 歳入の確保	27 自主財源の確保	17
	28 受益者負担の適正化	17
(8) 町有財産の売却・利活用の促進	29 町有普通財産等の有効活用の検討	18
(9) 財政状況の町民理解の促進	30 財政状況の公表	18

第2次伊方町行政改革大綱に基づく主要項目の進捗状況について

I 行政改革の主要項目

『第2次伊方町行政改革大綱』に示された方針に基づき、具体的な改革を主要項目として定め、総合的かつ計画的に改革を推進しています。なお、改革を計画的に進めるため目標年度を設定し、可能な限り目標数値を掲げています。

II 行政改革の計画期間

行政改革の計画期間は平成22年度から平成24年度までの3年間としています。

III 改革項目の実施状況

平成23年3月31日現在

改革の実施項目	項目数	進捗状況				実施率 (%)
		実施	一部実施	準備中 検討中	進展なし (未着手)	
22年度中に実施となっている項目	37	32	3	2	0	94.6%
24年度までに実施となっている項目	17	2	6	8	1	47.1%
25年度以降に実施となっている項目	10	1	1	6	2	20.0%
推進項目の合計	64	35	10	16	3	70.3%

* 実施率は、実施及び一部実施を合計した率としています。

IV 改革項目の進捗状況

1 町民サービスの向上

(1) 町民等との協働の推進

改革名	1 民間活動の促進					継続	目標年度	22			
改革内容	NPO法人等新たな民間活動を促進する。また、ボランティア活動を含めた民間活動支援のための優遇措置について検討する。					進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班
							→				政策推進課
目標	H22年度 検討・実施					(影響額)計画					目標達成評価
						実績					B
実施状況	H22年度 町が結婚支援イベントをNPO法人佐田岬ツーリズム協会に委託して開催 NPO法人佐田岬ツーリズム協会の運営に伴う財政的・人的支援の継続実施										
効果	地域の活性化										

進捗状況 [○実施 □一部実施 △準備・検討中 ●進展なし(未実施) →継続中]

目標達成評価 (A : 目標以上(目標年度前に達成) B : 目標どおり(目標年度に達成)
C : 目標年度より遅れ気味(目標年度に未達成) D : 未着手
* 目標年度に対する評価ランクをA~Dに分類しています。
* 目標がH23年度以降になっているものは原則として未記入)

影響額 平成21年度決算額との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入]

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

(2) 町民の視点に立ったサービスの提供

改革名	2 窓口業務の効率化					継続	目標年度	22
改革内容	窓口業務の一層の効率化と関係部署との連携による住民サービスの向上を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○					町民課
目標	H22年度 土地、建物の登記事項証明等の送付請求システム(ファクシミリ)の設置	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 土地、建物の登記事項証明等の送付請求システム(ファクシミリ)の設置							
効果	町民サービスの向上							

改革名	3 町営バスの運行見直し					継続	目標年度	22
改革内容	町営の公共交通の全町統一を図ったデマンド交通システムについて、運行方法等について検討し、町民の利便性の向上を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					総務課
目標	利用者 116人/日	(影響額)計画	116人/日	116人/日	116人/日		目標達成評価	
		実績	89人/日				B	
実施状況	H22年度 敬老行事対象者に亀ヶ池温泉送迎用無料券を配付							
効果	町民サービスの向上							

(3) 人材育成による能力向上

改革名	4 人材育成基本方針に基づく取組の推進					継続	目標年度	22
改革内容	自主研究グループ等に対する支援制度の整備、学習・研修成果の発表の場の提供等の施策を講じることにより自己啓発を支援する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					総務課
目標	職場研修 2回/年	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 人材育成基本方針に基づく研修を継続実施							
効果	職員の能力・資質の向上、町民サービスの向上							

改革名	5 職員提案制度の活用によるサービスの向上					継続	目標年度	22
改革内容	町の主要施策・財政状況の研修会を実施するとともに、部局を超えた多彩な発想を引き出し、町民サービスの向上を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					総務課
目標	職員提案 目標 2件/年	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					C	
実施状況	継続実施 (H21年度制度導入)							
効果	職員の能力・資質の向上、町民サービスの向上							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

(4) 行政情報の積極的な提供

改革名	6 提供できる媒体を活用した情報提供の推進					継続	目標年度	22
改革内容	広報誌、ホームページ、CATV、メール情報配信システム等を活用し行政情報の積極的な情報提供を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					政策推進課
目標	引き続き行政情報の提供	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	継続実施（広報誌、ホームページ等を活用した行政情報の提供）							
効果	町民サービスの向上							

(5) 情報化に対応したサービスの提供

改革名	7 八西CATVの活用					継続	目標年度	22
改革内容	行政ネットワークの一部として引き続き活用する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					総務課
目標	出先機関の行政ネットワークの接続に引き続き活用	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	継続活用							
効果	事務の効率化、町民サービスの向上							

(6) 対話型行政の推進

改革名	8 町政懇談会及び地区懇談会等の開催					継続	目標年度	22
改革内容	町内各地区において住民との懇談会を開催し、町行政の情報提供を行うと共に地域の諸問題等について情報交換を行い、地域のニーズを的確に把握する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					政策推進課
目標	【町政懇談会】 H25年度の開催を目標 【地区懇談会】 各課の業務において、必要性に応じて各課が開催	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	事業の計画・実施時において、必要に応じて地区住民との懇談会等を開催し、適確なニーズ把握に努めている。							
効果	住民ニーズの的確な把握							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較〔削減額(△)又は必要額を記入])

2 組織・機構の再構築

(1) 時代に即応した組織・機構の見直し

改革名	1 組織・機構の見直し					継続	目標年度	22
改革内容	引き続き分析と研究を重ね、複雑、多様化するニーズに対応できる柔軟な組織・機構の再構築を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□					総務課
目標	必要に応じ随時見直しを行う	(影響額)計画	△ 1,058	△ 1,058	△ 1,058	△ 3,174	目標達成評価	
			実績	△ 1,058			△ 1,058	B
実施状況	H22年度 組織・機構の検討、総合支所の日直者を減員							
効果	組織のスリム化、事務処理の効率化、町民サービスの向上							

改革名	2 給食センターの統合					継続	目標年度	期間外
改革内容	児童生徒の減少に伴い、現在2ヶ所ある給食センターの統合を検討する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
								教育委員会
目標	H24年度 調査・研究	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					
実施状況								
効果	財政の健全化(維持管理費の削減)、組織のスリム化							

改革名	3 学校統合の検討					新規	目標年度	24
改革内容	児童生徒の減少に伴い、学校の統合を検討する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△					教育委員会
目標	H22年度 統合方針の決定 H23年度～方針に基づき統廃合の実施	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					
実施状況	H22年度 学校再編検討委員会を開催し、統合方針の検討							
効果	財政の健全化(維持管理費の削減)							

改革名	4 保育所統廃合の検討					継続	目標年度	23
改革内容	統廃合検討委員会を設置し、保育所運営の効率化、多様化する保育需要に対応するための施策、子育て支援等に関する検討を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□					福祉課
目標	H22年度 統廃合検討委員会の設置、方針決定 H23年度～方針に基づき統廃合の実施	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					
実施状況	H22年度 統廃合検討委員会の設置、方針決定 (10箇所→5箇所)							
効果	財政の健全化(維持管理費の削減)、適正な定員管理、町民サービスの向上							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

改革名	5 政策調整会議の設置					継続	目標年度	22
改革内容	町の政策決定過程における各課の横断的な調整を行い、全庁的に統一のとれた迅速かつ正確な行政運営をはかるための庁内会議を設置する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				政策推進課	
目標	各課からの懸案事項に基づき随時開催	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 調整会議開催数 8回							
効果	事務事業の効率化							

(2) 人事制度の見直し

改革名	6 新たな人事評価制度の導入					新規	目標年度	23
改革内容	個々の能力や実績等を的確に把握し、適材適所の人事配置やメリハリのある給与処遇を実現し、公務能率の一層の増進を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				総務課	
目標	H22年度 詳細制度設計 H23年度 新制度導入	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 他の団体の動向を参考にしながら検討							
効果	公務能率の増進、町民サービスの向上							

(3) 定員管理及び給与の適正化

改革名	7 定員の適正化					継続	目標年度	22
改革内容	引き続き分析と研究を重ね、多様化する行政需要に効率的に対応できるよう職員数の適正化を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○				総務課	
目標	全職員 H22年度 238人 → H27年度 204人 (△31人)	(影響額)計画	238人 △ 19,578	→ 233人 △ 43,413	→ 225人 △ 100,968	△ 13人 △ 163,959	目標達成評価	
		実績	235人 △ 57,706			△ 57,706	B	
実施状況	H22年度からH26年度の適正化計画を作成。新規採用を抑制し適正定員管理に努めている。 H22年度 採用6人 / 退職10人							
効果	組織のスリム化、財政の健全化(経費の削減)、町民への説明責任							

改革名	8 給与の適正化					継続	目標年度	22
改革内容	愛媛県内・類似団体と比較して低水準の給与の適正化を検討するとともに、総人件費の抑制にも努める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	H22年度 給料表の構造など検討、見直し	(影響額)計画	影響額については、定員管理による総人件費の抑制と一体を成すことから記載を省略				目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 給料表の改正(△0.08%)、期末・勤勉手当の削減(4.15月→3.95月)							
効果	財政の健全化(給与の適正化)、町民への説明責任							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

改革名	9 特別職等の報酬等の適正化					継続	目標年度	22
改革内容	一般職の給与構造改革等も考慮し、特別職等の報酬について、特別職報酬等審議会の審議などにより見直しを行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	諮問に基づく審議会の開催、審議	(影響額)計画	△ 8,472	△ 9,135	△ 9,135	△ 26,742	目標達成評価	
			実績	△ 8,472			△ 8,472	B
実施状況	H21年度 審議会開催（据置の答申） H22年度 地方自治法改正による収入役の廃止							
効果	財政の健全化(報酬の適正化)							

改革名	10 委員会・審議会の見直し					継続	目標年度	期間外
改革内容	各種委員会等の統廃合、定数の見直しについて検討を進める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	H22年度～組織の統廃合及び定数の検討 女性の社会参加の向上	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					
実施状況	H22年度 組織の統廃合及び定数の検討							
効果	組織のスリム化・活性化							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較〔削減額(△)又は必要額を記入])

3 協働体制の構築

(1) 町民等との役割分担の検討

改革名	1 町民等との役割分担について検討					新規	目標年度	期間外
改革内容	協働による町づくりを進めていくための役割分担のあり方について、事務事業全般にわたり検討を進める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△					財政課
目標	H22年度 行政がすべきこと、住民がすべきことの調査・研究	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 行政がすべきこと、住民がすべきことのルールづくり、調査・研究							
効果	行政組織のスリム化、町民サービスの向上							

(2) 民間活力の活用

改革名	2 民間委託の推進					継続	目標年度	24
改革内容	民間のノウハウ、高度な専門知識を活用する方が効果的な事務事業、業務、施設管理等を点検し、業務効率と経済性の観点から民間委託を推進する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					財政課
目標	H24年度 可能なものから実施	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	引き続き、民間委託可能な事務事業の検討							
効果	財政の健全化(経費の削減)、町民サービスの向上、適正な定員管理							

改革名	2-① NPOとの役割分担(観光産業)					継続	目標年度	期間外
改革内容	NPO法人佐田岬ツーリズム協会が今日までに築き上げた基盤(経営ノウハウ・観光客の受け入れ態勢・特産品の販売態勢)を基に町との協働体制を深め観光産業での町の活性化を目指す。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					産業振興課
目標	H23年度 設立当初からの目標である観光産業の確立、情報発信の交流促進、特産品の販路拡大を目指し自主運営に取り組む。	(影響額)計画	△ 222	△ 224	△ 1,444	△ 1,890	目標達成評価	
		実績	1,108			1,108		
実施状況	H22年度 ツーリズム事業の受け皿整備(インストラクターの育成)、市場調査(三崎港・東北)及び ツアー企画、物販(通販)営業等を実施							
効果	観光産業における地域活性化							

改革名	2-② 高齢者配食サービス事業の充実					継続	目標年度	23
改革内容	瀬戸地域の実施を全町に拡大できるよう調査検討のうえ取り組む。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○					福祉課
目標	H23年度 全町にエリア拡大実施	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					A	
実施状況	H22年8月 全町にエリアを拡大実施【完結】							
効果	町民サービスの向上							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較【削減額(△)又は必要額を記入])

改革名	3 指定管理者制度の導入					継続	目標年度	22
改革内容	公の施設について指定管理者制度の導入を検討し、施設管理運営の合理化を進める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				財政課	
目 標	新規導入する施設があれば、適宜取り組む。	(影響額)計画	△ 21,160	△ 20,270	△ 20,270	△ 61,700	目標達成評価	
			実績	△ 21,160			△ 21,160	B
実施状況	H22年度 2施設：【新規】三崎製氷施設 【更新】亀ヶ池温泉							
効 果	財政の健全化(経費の削減)、町民サービスの向上							

(3) 意識改革の推進

改革名	4 学校間交流事業					継続	目標年度	22
改革内容	町民の一体感の醸成のために、教育課程(総合的な学習等)の中で、学校間での合同学習の実施。(スポーツ大会・音楽発表会等)	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				教育委員会	
目 標	必要に応じ随時検討実施	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					B
実施状況	継続実施(「瀬戸アグリトピア」での宿泊体験活動)							
効 果	児童生徒の一体感の醸成							

改革名	5 職員の信頼感の確保					継続	目標年度	22
改革内容	定期的な職員研修により意識改革を図り、職員のイベント等への積極的な参加・協力を促す。今後もイベント等主管課長から各課長へ参加要請を行い、課内職員の取りまとめや参加を促し、出来るだけ多くの参加によるイベント等を開催。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				産業振興課	
目 標	引き続き実施する。	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					B
実施状況	引き続きイベント等への職員の参加協力要請を実施(イベントへの参加協力職員が増加傾向)							
効 果	職員の意識改革							

改革名	6 住民自治に関する行政の意識改革					新規	目標年度	22
改革内容	町民が主体的にまちづくりに関わり、行政はサポートするという町民参加型のまちづくりを目指すため、職員の意識改革に取り組む。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				総務課	
目 標	H22年度 研修実施	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					C
実施状況	H22年度 職員研修の検討							
効 果	職員の能力・資質の向上、町民サービスの向上							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較【削減額(△)又は必要額を記入])

改革名	7 防災意識の高揚					新規	目標年度	22
改革内容	予測される東南海・南海地震や台風災害等への防災意識を高めるため、防災訓練、防災会議等を実施し、防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の育成・強化を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□				総務課	
目 標	自主防災会訓練実施率 100%	(影響額)計画	100%	100%	100%		目標達成評価	
			実績	63.6%			B	
実施状況	H21年度～伊方町総合防災訓練の実施・運営費補助金の交付 H22年度 訓練実施状況 35/55地区 (63.6%)							
効 果	意識改革							

(4) 人材等の発掘及び活用

改革名	8 ふるさとづくり活動の担い手となるボランティア組織等の育成					継続	目標年度	22
改革内容	過疎化・高齢化の進展と地域コミュニティ機能の低下に伴い、地域環境の維持向上が困難となっていることから、地域社会の諸問題解決のための活動に取り組むボランティア組織やNPO団体の育成及び支援を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				政策推進課	
目 標	H22年度 検討・実施	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績				B	
実施状況	H22年度 町内地域づくり団体の把握 及び ボランティア・NPO団体支援に対する職員の研修							
効 果	自治意識(助け合い精神)の向上、協働体制の促進							

改革名	9 町民の自治活動の推進 (ふるさとづくり自治活動推進基金活用)					継続	目標年度	22
改革内容	人口の減少と高齢化に伴い、各行政区においては自治活動の維持機能が低下しているため、ふるさとづくり自治活動推進基金の財源を活用して、各行政区の自治活動の活性化を図り集落機能の再生と自立を促進する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				政策推進課	
目 標	H22年度以降 検討	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績				B	
実施状況	H22年度 継続実施 (ふるさとづくり自治活動推進事業)							
効 果	集落機能の再生と自立							

改革名	10 集落支援員の設置					新規	目標年度	22
改革内容	限界集落の再生と活性化を図るため、「集落支援員」を設置し、集落の諸問題の調査と課題解決のための総合的な取り組みを行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				政策推進課	
目 標	H22年度 旧村(6地域)の区域毎に1名の集落支援員の設置を目指す。 H23年度 各地域(3地域)1名に変更し、集落支援員の設置	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績				C	
実施状況	H22年度 地域、人数の配置を再検討							
効 果	集落活動の維持・活性化							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

改革名	11 人材等の掘り起こし及び活用					新規	目標年度	24
改革内容	多様な人材等の掘り起こしを行い、新しい町づくりに活用する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				教育委員会	
目標	H22年度 方針決定 H23年度 人材の掘り起こし	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 学校・家庭・地域連携推進事業、学校支援地域本部(補助事業)事業により、三崎地域で行われている人材バンク登録を全町展開していく方針を決定							
効果	地域の活性化、協働体制の構築							

(5) 町民参画により開かれた町政の推進

改革名	12 町民参画の推進					継続	目標年度	22
改革内容	各種委員会等委員の登用にあたっては、公募制度の導入を検討すると共に、女性の積極的な登用など町民の参画する機会を拡充し、新たな視点でのまちづくりを推進する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				政策推進課	
目標	H22年度 実施	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					C	
実施状況	H22年度 庁内に「男女共同参画推進委員会」を設置(職員の意識啓発、女性登用の推進)							
効果	職員の意識の変化							

(6) 町政運営の公正の確保と透明性の向上

改革名	13 給与・定員管理等の状況公表					継続	目標年度	22
改革内容	引き続き人事行政情報を積極的に提供し、町民の理解促進に努める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	広報・ホームページ 年1回公表	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	引き続き、広報・ホームページにて公表(年1回) 【給与・定員管理の状況】 H17年度～ 【人事行政の運営等の状況】 H20年度～							
効果	町民への説明責任							

改革名	14 食糧費の公表					継続	目標年度	期間外
改革内容	公平性、透明性を確保するため、公表基準を定め検討する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	他団体の公表の状況に応じて、公表基準の決定、ホームページで公表	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 他団体の公表状況調査の実施							
効果	町民への説明責任、公平性・透明性の確保							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較【削減額(△)又は必要額を記入])

4 財政の健全化

(1) 予算編成システムの見直し

改革名	1 総合計画と連動した予算編成					新規	目標年度	23
改革内容	総合計画と財政計画を連動した予算編成システムの構築を進め、長期的な視点に立った安定財政を目指す。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				財政課	
目標	H22年度 システムの検討 H23年度 総合計画と連動した予算編成	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					
実施状況	H22年度 システムの検討							
効果	健全財政の堅持							

改革名	2 財政健全化計画に基づいた予算編成					継続	目標年度	22
改革内容	長期的な視野に立った財政健全化計画の策定により、計画に基づいた予算編成により健全財政を堅持する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○				財政課	
目標	実質公債費比率 地方債発行に許可が必要となる18.0%以内 起債発行額 償還額以内(臨時財政対策債は除く。) 経常収支比率 90%以内	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					A
実施状況	実質公債費比率 H22 : 12.8% 起債発行額 H22 : 260,600千円 < 1,046,863千円 経常収支比率 H22 : 85.1%							
効果	健全財政の堅持							

(2) 行政評価システムの導入

改革名	3 行政評価システムの導入					継続	目標年度	24
改革内容	事務事業の目的、効果などの成果を客観的に評価する行政評価システムを導入し、評価と各種計画、予算編成が連動する仕組みを構築する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				財政課	
目標	H22年度 県内の動向等調査研究 H23年度 推進事務局の設置、方針決定 H24年度 検討・見直し、試行	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					
実施状況	H22年度 県内の動向等調査研究							
効果	財源の有効活用、町民への説明責任							

(3) 徹底した内部管理経費の節減

改革名	4 消耗品費の見直し					継続	目標年度	22
改革内容	毎年度5%削減(コピー、一般事務用品)	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○				財政課	
目標	H22年度～前年度当初予算を基準に年5%削減	(影響額)計画		850	850	1,700	目標達成評価	
			実績	△ 3,678			△ 3,678	B
実施状況	H22年度 消耗品費を5.2%削減							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

改革名	5 公共工事等のコスト削減					継続	目標年度	22
改革内容	公共工事のコスト削減に努めることとし、委託業務のうち、簡易なものについては、職員で対応していく。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				建設課	
目標	H22年度 継続実施	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	引き続き、専門的知識が必要な設計以外の簡易な測量、設計は職員で実施							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

改革名	6 旅費の見直し					継続	目標年度	22
改革内容	調査、研究を重ね、可能な限りの行政コストの削減に努める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	必要に応じ随時見直し	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	第1次の見直しを継続運用(庁車利用の促進、支給基準の見直し等)							
効果	費用弁償の適正化							

改革名	7 郵便料の削減					継続	目標年度	22
改革内容	文書の送付方法など郵便料を削減する方法を検討し、コストを削減する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	必要に応じ随時見直し	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	継続実施(口座振替の領収書廃止、広報の町外送付等方法の変更による削減)							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

改革名	8 庁舎等の節電による電気料の削減					継続	目標年度	22
改革内容	冷暖房の温度設定や昼休みの消灯など節電を行い、コスト及びCO2を削減する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	省エネルギーのための電気使用料の削減を継続 ・昼休みの消灯実施 ・冷暖房の温度設定(冷房28度、暖房20度) H24年度 照明器具のLED化について費用対効果を検討	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	継続実施(昼休みの消灯、冷暖房の温度設定等による削減)							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較【削減額(△)又は必要額を記入])

改革名	9 庁舎の管理委託料の削減					継続	目標年度	22
改革内容	庁舎の清掃業務(日常清掃業務)委託の範囲縮小を行い、その対応策として職員で実施し、コストを削減する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	コスト削減箇所を随時検討し見直す	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	継続実施(日常清掃業務を職員が実施)							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

(4) 事務事業の見直し

改革名	10 事務決裁システムの再構築					継続	目標年度	22
改革内容	事務の効率化を進めるため決裁システムの再構築を引き続き行い、町民サービスの向上及びコスト削減を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	問題点あれば随時見直す	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 決裁事務の内容確認・検討							
効果	事務の効率化							

改革名	11 申請書・公文書の簡素化					継続	目標年度	23
改革内容	申請書等の押印及び書式の見直しを行うことで事務の簡素化・効率化を図り、町民サービスの向上を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	必要に応じ随時見直し	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 押印の必要性等の確認作業							
効果	事務の簡素化、町民サービスの向上							

改革名	12 投票所及び選挙事務の見直し					継続	目標年度	22
改革内容	選挙事務の見直しを行うことで人件費などのコスト削減を行うとともに、投票所の設置数についても地域の特性等を考慮し見直しについて検討を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	H22年度 人件費等のコスト削減	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	継続実施(期日前投票所の期間短縮、当日投票の投票時間繰上)							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較【削減額(△)又は必要額を記入])

改革名	13 公用車の適正管理					継続	目標年度	23
改革内容	公用車の効率的な管理方法を検討し、適正な管理を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				総務課	
目標	第1次改革の継続実施 (適正な車両管理、高燃費車への更新等) 必要に応じ随時見直し・実施	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	継続実施(車両管理)							
効果	公用車利用効率化の徹底							

改革名	14 電子申請システムの運用検討					継続	目標年度	22
改革内容	県内で運用されている電子申請システムの利用状況などを勘案し、サービスの継続について検討する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○	→			総務課	
目標	H22年度 共同運営の廃止	(影響額)計画	△ 507	△ 2,030	△ 2,030	△ 4,567	目標達成評価	
		実績	△ 507			△ 507	B	
実施状況	H22年度 共同運営の廃止							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

改革名	15 ごみ処理の集約化及びリサイクルの推進					継続	目標年度	24
改革内容	施設整備による集中管理で経費節減並びにリサイクルの推進を図り、ごみの減量化に努める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□				町民課	
目標	H22年度 最終処分場実施設計 H23・24年度 // 施設整備	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 最終処分場実施設計完成							
効果	ごみ処理の集約化・リサイクルの推進							

改革名	16 補助団体の自立促進及び補助金の見直し					継続	目標年度	24
改革内容	補助団体の自立促進及び補助金のあり方について検討する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				財政課	
目標	H24年度 見直し	(影響額)計画				0	目標達成評価	
		実績	△ 80			△ 80		
実施状況	H22年度 各種団体の補助金に関する現状把握							
効果	補助金の透明性の確保							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△)又は必要額を記入])

改革名	17 入札制度の適正化					継続	目標年度	期間外
改革内容	町内では調達できない測量設計等のコンサルタント業務においても、制限付一般競争入札の制度を導入する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△					財政課
目標	H22年度 導入に向けての調査研究 H23年度 検討 H24年度 試行 H25年度 実施	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 導入に向けての調査研究							
効果	入札制度の適正化							

(5) 予算執行段階での節減

改革名	18 コスト意識と創意工夫による節減					新規	目標年度	22
改革内容	予算執行段階において、最小の経費で最大の行政効果が上がるよう、コスト意識と創意工夫により事務事業を執行する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□					財政課
目標	H22年度 発注内容を精査し、職員で対応可能なものについては検討する。	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 委託・物品等の一括契約を可能にするため制度化を実施							
効果	予算執行段階の節減・コスト削減							

(6) 公営企業の経営健全化

改革名	19 下水道使用料の見直し					継続	目標年度	期間外
改革内容	H24年度で事業が完了予定であり、その後、公共下水道の使用料について、受益と負担の公平性の確保のため見直しを行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→					上下水道課
目標	事業完了後検討 国庫補助金の減額により事業完了年度が遅れる為、完了後見直しを行う。	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	H22年度 現在の使用料を継続							
効果	使用料の適正化、財政の健全化(財源の確保)							

改革名	20 水道料金の見直し					新規	目標年度	期間外
改革内容	水道事業費用に対する適正な水道料金を決定して、一般会計からの赤字補てんをできるだけ縮減する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
								上下水道課
目標	H27年度を目途に水道料金の改定	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況								
効果	使用料の適正化、財政の健全化(財源の確保)							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

改革名	21 経営状況の改善					継続	目標年度	23
改革内容	中期経営計画に沿って経営内容を把握しながら、中期的な展望見据えた企業経営を実施する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□				上下水道課	
目標	H22年度 計画策定 H23年度 実施	(影響額)計画	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 6,000	目標達成評価	
		実績	△ 7,000			△ 7,000		
実施状況	H22年度 企業経営の改善に努めた結果、赤字繰入額が前年度比7,000千円減少							
効果	財政の健全化(経費の削減)							

改革名	22 水道水の漏水対策の強化					継続	目標年度	23
改革内容	H20年度に策定した水道ビジョンに添って老朽管の布設替えを順次実施していく。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			→				上下水道課	
目標	H22年度 方針決定 H23年度 実施	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	漏水防止対策の強化のため、老朽化施設の修繕工事を実施							
効果	財政の健全化(経費の削減)、町民サービスの向上							

改革名	23 水道管理システム(地図情報システム)の構築					継続	目標年度	期間外
改革内容	水道管等の情報をデータ化した地図情報システムの構築について検討し、非常時への対応等を含めた適正な管理を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			△				上下水道課	
目標	H22年度 検討	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績						
実施状況	下水道と合わせて構築予定であり、下水道工事の完成後に実施							
効果	事務の効率化、町民サービスの向上							

改革名	24 診療所の財政健全化					継続	目標年度	22
改革内容	経常経費の節減と人件費・医療機器整備に係る経費の財源確保で経営の健全化に努める。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○				福祉課	
目標	医薬品の一括購入による経費節減 電源交付金等の財源確保(人件費・医療機器)	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 ワクチンの全診療所分一括購入による経費節減、電源交付金等の財源確保(人件費・医療機器)							
効果	町民サービスの向上、財政の健全化(経費の削減)							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較【削減額(△)又は必要額を記入])

改革名	25 特定健診の受診率向上対策					新規	目標年度	期間外
改革内容	特定健康診査の推進、保健指導における専門的な支援体制を整える。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○				福祉課	
目標	受診率の向上	(影響額)計画	52%	59%	65%		目標達成評価	
			実績	38%			B	
実施状況	H22年度 保健推進活動等を通して受診の勧奨（受診率は横ばい状態）							
効果	健康増進、財政の健全化(医療費の抑制・財源の確保)							

改革名	26 伊方町風力発電所の経営改善					新規	目標年度	24
改革内容	トラブルの早期復旧や運転管理体制の改善を進め、事業会計の独立性を堅持する。また、事業運営について直営と民間委託の比較検討を行い、より効率的な運営を図る。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
							産業振興課	
目標	H24年度までに運転管理の民間委託を検討調査 H25年度から実施できるように努める。 ※影響額は、事業会計の次年度繰越金(剰余金)	(影響額)計画	1,939	1,000	1,000	3,939	目標達成評価	
			実績	1,939			1,939	
実施状況								
効果	財政の健全化(事業会計の独立)							

(7) 歳入の確保

改革名	27 自主財源の確保					継続	目標年度	24
改革内容	行政の自主性・安定性を高め自立して行くため、新税の検討、町有地の有効活用や売却、税等の滞納整理、HPに企業広告を掲載するなど収入を確保し、安定した自主財源の確保を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□				財政課	
目標	新税の検討 HPに企業広告を掲載 町有地の有効活用	(影響額)計画		35,400	33,500	68,900	目標達成評価	
			実績	11,024			11,024	
実施状況	H22年度 町有地の売却(三崎歯科医師住宅他)							
効果	財政の健全化(財源の確保)							

改革名	28 受益者負担の適正化					継続	目標年度	24
改革内容	町民負担の公平の確保の観点と受益者負担の原則に立って、使用料や手数料等の見直しを行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			□				財政課	
目標	H22年度 近隣市町の使用料、手数料等の調査研究 H23年度 検討・協議(各課)	(影響額)計画					目標達成評価	
			実績					
実施状況	H22年度 近隣市町の調査、研究を各課へ依頼							
効果	町民の公平性、財政の健全化(財源の確保)							

- ・進捗状況(○:実施 □:一部実施 △:準備・検討中 ●:進展なし(未実施) →:継続中)
- ・目標達成評価(A:目標以上 B:目標どおり C:遅れ気味 D:進展なし)
- ・影響額(平成21年度決算との比較 [削減額(△) 又は 必要額を記入])

(8) 町有財産の売却・利活用の推進

改革名	29 町有普通財産等の有効活用の検討					継続	目標年度	22
改革内容	遊休地や未利用施設について、その有効活用の検討を行い、活用予定が無い物件については、民間への貸付や売却を行う。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○				政策推進課	
目標	計画期間中に、利活用実績に基づく収入(0円以上)を計上する。	(影響額)計画	10,706			10,706	目標達成評価	
		実績	10,706			10,706	B	
実施状況	H22年度 元三崎診療所歯科医師住宅の売却 【「27 自主財源の確保」の影響額に計上(再掲)】							
効果	財政の健全化(財産の有効活用)							

(9) 財政状況の町民理解の促進

改革名	30 財政状況の公表					新規	目標年度	22
改革内容	新地方公会計制度を活用し、町の財政状況を公表する。	進捗状況	H22	H23	H24	合計	総括班	
			○				財政課	
目標	財政状況等一覧表、財政比較分析等公表しており、今後も実施する。	(影響額)計画					目標達成評価	
		実績					B	
実施状況	H22年度 公会計(普通会計)、財政状況等一覧表、財政比較分析表、財政健全法に基づく指標、予算・決算の公表							
効果	町民への説明責任							

(注)

(1) 進捗状況

改革の実施項目ごとの進行状況を**進捗状況欄**に記載しています。
記載内容は、平成23年3月31日現在を ○ 実施、□ 一部実施、△ 準備・検討中、● 進展なしの4分類としています。

(2) 目標達成評価

改革の実施項目ごとに、目標年度を基準とした改革の取組状況を**目標達成評価欄**に記載しています。
取組状況は、改革の目標年度に対する改革の実施状況を A 目標年度より前の年度に実施、B 目標年度に実施、C 目標年度より遅れ気味、D 進展なし(未着手)の4分類として改革達成度の目安としています。

第2次行政改革実施に伴う削減効果等明細表

(金額:千円)

主要項目		H22年度	H23年度	H24年度	合計	
1 町民サービスの向上		-	-	-	-	
		-	-	-	-	
(1)町民等との協働の推進 (2)町民の視点に立ったサービスの提供 (3)人材育成による能力向上 (4)行政情報の積極的な提供 (5)情報化に対応したサービスの提供 (6)対話型行政の推進		-	-	-	-	
2 組織・機構の再構築		△ 29,108	△ 53,606	△ 111,161	△ 193,875	
		△ 67,236	0	0	△ 67,236	
(1)時代に即応した組織・機構の見直し		△ 1,058	△ 1,058	△ 1,058	△ 3,174	
		△ 1,058	0	0	△ 1,058	
(2)人事制度の見直し		-	-	-	-	
		-	-	-	-	
(3)定員管理及び給与の適正化		△ 28,050	△ 52,548	△ 110,103	△ 190,701	
		△ 66,178	0	0	△ 66,178	
3 協働体制の構築		△ 21,382	△ 20,494	△ 21,714	△ 63,590	
		△ 20,052	0	0	△ 20,052	
(2)民間活力の活用		△ 21,382	△ 20,494	△ 21,714	△ 63,590	
		△ 20,052	0	0	△ 20,052	
(1)町民等との役割分担の検討 (3)意識改革の推進 (4)人材等の発掘及び活用 (5)町民参画により開かれた町政の推進 (6)町政運営の公正の確保と透明性の向上		-	-	-	-	
		-	-	-	-	
4 財政の健全化		削減額	△ 2,507	△ 3,180	△ 3,180	△ 8,867
			△ 11,265	0	0	△ 11,265
		収入額	1,939	36,400	34,500	72,839
			12,963	0	0	12,963
削減額	(3)徹底した内部管理経費の節減	0	850	850	1,700	
		△ 3,678	0	0	△ 3,678	
	(4)事務事業の見直し	△ 507	△ 2,030	△ 2,030	△ 4,567	
		△ 587	0	0	△ 587	
収入額	(6)公営企業の経営健全化	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 6,000	
		△ 7,000	0	0	△ 7,000	
	(6)公営企業の経営健全化	1,939	1,000	1,000	3,939	
		1,939	0	0	1,939	
	(7)歳入の確保 (8)町有財産の売却・利活用の促進	0	35,400	33,500	68,900	
		11,024	0	0	11,024	
(1)予算編成システムの見直し (2)行政評価システムの見直し (5)予算執行段階での節減 (9)財政状況の町民理解の促進		-	-	-	-	
		-	-	-	-	
効果額計		削減額	△ 52,997	△ 77,280	△ 136,055	△ 266,332
			△ 98,553	0	0	△ 98,553
		収入額	1,939	36,400	34,500	72,839
			12,963	0	0	12,963

* 上段に計画額、下段に実績額を記載しています。